

第1回 企画委員会 議事録

開催日時：2024年12月20日 9:30-11:20（オンライン開催）

文責 中嶋貴子
2024年12月30日作成

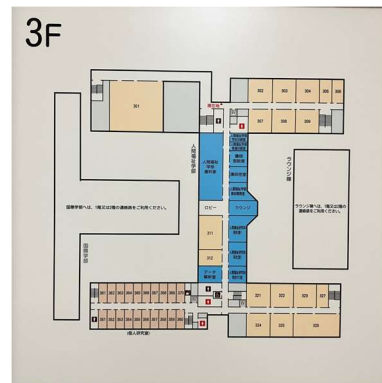
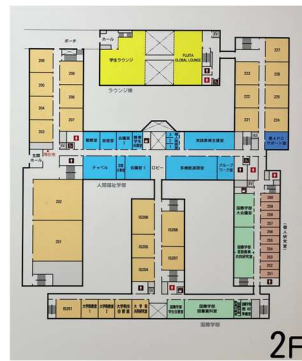
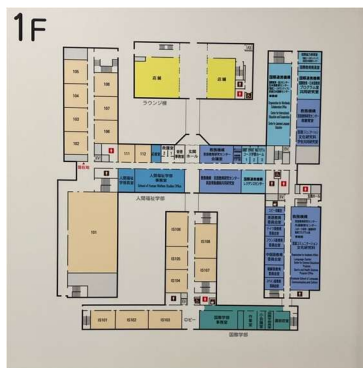
参加者（順不同、敬称略）：石田祐（関西学院大学）、坂本治也（関西大学）、松本典子（駒澤大学）、関嘉寛（関西学院大学）、寺下和宏（京都大学）、田村（NPO法人なごみ）、岡村こずえ（甲南大学）

1. 自己紹介、大会運営に関する学会の体制について確認した。

会場：関西学院大学 G号館1-3階、コンビニ、スターバックスあり

<https://www.kwansei.ac.jp/nuc/facility/>

託児：3階カーペットのある部屋の使用を予定



2. 企画委員長の選出

- ・寺下和宏さんを前回一致で企画委員長に選出した。

3. 公開シンポジウムについて

- ・阪神淡路大震災から30周年をメインテーマとする。
- ・ジェンダーバランスに配慮し、パネリスト等を選出する。
- ・関さん、田村さん、岡本さん、寺下さんを中心に、テーマ、登壇者の素案を検討する。
- ・公開シンポジウムの素案を12月28日までに企画委員会MLへ提示し、検討する。
- ・情報共有

関さん：関西学院大学 ボランティア活動支援「ヒューマンサービス支援室」室長 https://www.kwansei.ac.jp/c_volunteer、災害復興研究所<https://www.kwansei.ac.jp/fukkou>にも参画。

田村さん：神戸、芦屋のNPOとも連携がある。防災フォーラムを企画している。神戸、社協、NPOが連携している活動もある。

（参考：NPO法人なごみ <https://narunago.wixsite.com/machicafe/about->）

岡本さんより資料提供：

関学の震災の報告書、中のボランティア部分の記載あり。

https://www.kwansei.ac.jp/cms/kwansei_fukkou/file/publications/books/gakishin_08.pdf

4. 企画パネル案について

- ・企画パネルの登壇者には、謝金・旅費を支払うことができる予定である。
- ・テーマの提案者にかかわらず、企画委員会全員で検討を行うこととする。
- ・企画パネルの素案は12月28日までに、企画委員会MLに提示の上、検討する。

企画パネル案

- ・松本さん 協同組合関係のテーマで提案予定
- ・田村さん 地域活動における中間支援等のテーマで提案予定
- ・他の提案について、12月28日までに企画委員会MLに提示する。
- ・

5. 次回委員会、

- ・1月20日の報告募集締切以降に第2回委員会を開催する。

6. 次回までの確認事項

- ・謝金・旅費の予算について大会運営委員会・学会事務局に確認を依頼する。

参考：[研究大会決算（高崎経済大学提出用）\[64\].docx](#)

[日本NPO学会謝金規程.pdf](#)

以上

日本NP0学会第27回年次大会 第2回企画運営委員会議事録

文責：戸川和成、寺下和宏

2025. 1. 28作成

日時：2025年1月28日（火）17時～18時26分

場所：オンライン（Zoom）

出席者

- ・委員：寺下和宏（企画委員長）、岡村こず恵、岡本仁宏、坂本治也、田村幸大、戸川和成、中嶋貴子
- ・その他：石田祐（会長）

欠席者

- ・委員：関嘉寛、松本典子

1、パネル数、登壇者の交通費・謝金等に関する情報共有

- ・現在の公募応募数および企画委員会パネルの採択数について、中嶋委員より以下の報告があった。
- ・既存4案の企画委員会パネルを含めた現在の応募数は20程度である。
- ・総数と会場の規模から新たに3つぐらい企画パネル案を新たに提出可能になる予定である。
- ・2月末までに公募の審査を終了し、通知する。

・公開シンポジウム、企画委員会パネル登壇者の交通費および謝金について捻出が可能である旨、寺下および坂本、石田会長より確認があった。

・旅費および謝金についてはそれぞれこれまでの慣例に従い、非会員のための支給ということで了承された。

・各企画担当者は、登壇者のステータス（非会員と会員か）を確認したうえで、以下の規定に則って依頼することが確認された。

- ・旅費規定（公開）
- ・謝金規定（非公開）

2、企画委員会パネルの決定

- ・既存4案（田村案、戸川案、岡村案、寺下案）が承認された。

3、シンポジウムおよび各パネルの分担決定

- ・各案についてそれぞれの提案者以外の委員を配置し、サポート体制を構築することが確認された。
- ・各委員の配置については寺下に一存することが確認された。

4、エクスカージョンや前夜祭等、その他の企画についてのご相談

- ・例年、エクスカージョンについては実行委員会が企画しており、今回の大会でも現在、実行委員会の方で企画中という点、確認された。

- ・前夜祭については企画委員会として実施するかどうかを次回委員会で決定することが確認された。

- ・その他、大会中に交流を促進するような企画があれば、企画委員会でも適宜提案し、実行委員会、大会運営委員会とともに実施していくことが確認された。

- ・中嶋委員より、学術研究委員会から「スタディグループのブレスト企画」に関するアイデアが提案されている旨の情報共有と大会のセッション枠を使った上での実施可否について提案があり、当該案について意見交換があった。

- ・議論の結果、学術研究委員会からの提案はまだ具体的でないため、企画委員会としては、既存4案と同様の形で企画案を文章で作成した上で共有してもらい、その後、改めて企画委員会パネルとして採用するかどうかを検討する旨、連絡することを確認した。

5、公開シンポジウムについて

- ・寺下より、シンポジウム案の現状に関して説明があった。

- ・寺下より、以下3点について検討が必要である旨説明があり、その後、案に関する意見交換があった。

- ・基調講演の可否および登壇者について。

- ・パネルの構成（3人登壇の2部制or 4人登壇2人コメンテーター）について。

- ・パネルの内容および登壇者について。

- ・以上に関して、委員から以下のような発言があった。

- ・基調講演の内容とその後のパネルの関連性を意識する必要性がある。

- ・海外ゲストについては民間財団などからの財政支援が不可欠であり、企画委員会だけでは実現が難しいのではないかと。

- ・岡本委員、関委員ほかを介して、キーパーソンとなる人に連絡し、登壇者を決めていく方法もあるのではないかと。

- ・基調講演とその後のパネルの関連性については、学術と実践の両方の観点から理解できる人を登壇者またはモデレーター（司会）にすることで解決することができるのではないかと。

- ・議論の結果、公開シンポジウムについては以下のように進めることが確認された。

- ・基調講演における海外ゲスト招聘については、関連団体、行政などを通じての資金援助の可能性を整理し、理事会に諮ったうえで実現可能性を模索する。

- ・基調講演の有無にかかわらず、基調講演の候補者となっているDaniel Aldrich氏を念頭におきつつ、学術的な議論との相互交流が可能なパネル登壇の候補者を考える。

- ・各委員は現在のシンポジウム案で登壇の候補者となる適任者をメールで共有する。

6、その他

- ・次回委員会は2月中に実施することが確認された。

以上

日本NP0学会第27回年次大会 第3回企画運営委員会議事録案

文責：戸川和成、寺下和宏

2025. 3. 7作成

日時：2025年3月1日（火）17時～18時30分

場所：オンライン（Zoom）

出席者

・委員：寺下和宏（委員長）、岡村こず恵、坂本治也、田村幸大、関嘉寛、松本典子、戸川和成

欠席者

・委員：中嶋貴子、岡本仁宏

1、非会員登壇者の旅費、謝金、シンポジウム登壇者の懇親会参加について

・寺下より旅費・謝金の支給基準およびシンポジウム登壇者の懇親会参加について、以下のとおり確認があった。

①登壇者が日本NP0学会会員の場合：謝金、旅費、大会参加費、懇親会費などの支給は一切行わない。

②登壇者が日本NP0学会の「非会員」の場合

・謝金：日本NP0学会謝金規程（外部非公開）に基づき支払う。

・旅費：日本NP0学会旅費規程を準用して、往復交通費実費を支給することができる。宿泊費については早朝セッションで交通事情的に間に合わない場合など、やむを得ない事情がある場合に限り支給する。いずれの場合も領収書の提出を求める。なお、登壇者が自弁で前泊、後泊をすることはとくに問題はない。したがって、登壇日以外の大会日程に参加するために移動日が登壇日と異なっていることは旅費支給上、とくに問題はない。

・大会参加費：非会員登壇者は大会参加費が免除される。別途、大会参加の申し込み手続き自体は必要である。

・懇親会費：非会員の公開シンポジウム登壇者に限り、懇親会に無償で招待する。その他の登壇者については懇親会費を支給しない。

・以上の基準以外で支給を希望する場合「事務局が個別の事案に対して対応をするようにしていく」ということが共有された。

2、各企画委員会パネルの進捗確認

・各案の進捗状況について以下のとおり確認があった。

・戸川案：内容および登壇者について確定。

・寺下案：内容および登壇者について確定したが、登壇者の1人がオンライン登壇を希望しているため、大会実行委員会にオンライン対応可能かについての確認をとった上で対応する。

- ・岡村案：登壇者の確認・調整中¹
- ・田村案：登壇者の確認・調整中²

- ・田村案については登壇者数が多いため、以下のような意見があった。
- ・当該セッションには、多くの参加者が予想されるため、当該時間のセッション数を絞るなどの参加者数を増やす工夫があると良い。
- ・予算の関係上、すべての非会員登壇者に旅費および謝金を支給することができない可能性がある。

- ・田村案の時間の調整については、戸川（大会運営委員兼務）が大会運営委員会に提案することが共有された。

- ・田村案に登壇する非会員登壇者の旅費および謝金については、登壇者決定後、田村委員から寺下に相談のうえ、たとえば規定額ではなく、1セッションあたりの予算を人数分で割って支給するなどで対応することが確認された。

- ・3月末の報告概要作成の前までには登壇者を確定することが確認された。

- ・戸川（大会運営委員兼務）より、企画委員会パネルの日程配置については各案ごとの希望通りに配置されることが確認された。

（参考）坂本案：日曜午後、田村案：日曜、寺下案：土曜を希望。

3、公開シンポジウムの登壇者（候補者）の承認

- ・寺下より公開シンポジウムの企画状況について以下のとおり共有があった。
- ・基調講演について、当初予定していたアルドリッチ氏は都合がつかず、オンラインでの登壇もできないため、基調講演登壇者を新たに検討する、または基調講演自体をなしにする案を検討中である

- ・パネル登壇者についてはほとんど内諾を得ており、残り2名に連絡中である³

- ・基調講演の登壇者候補について、寺下より委員に意見を募った。

- ・以上の企画状況および登壇者候補に関し、委員から以下のような意見があった。
- ・パネル登壇者には震災関連の研究者および実践者だけでなく、専門外の学会員をコメンテーターで入れるのはどうか。
- ・基調講演自体をなしにする場合「会長講演」という形で石田会長に登壇を打診するのはどうか。

- ・寺下から上述の意見については最終案を提示する前に可能な限り反映する旨、確認があった。

- ・（基調講演者を除く）パネル登壇者についての承認が提案され、承認された。

¹ 後日、岡村委員から登壇者が確定したとの連絡があった。

² 後日、田村委員から登壇者が確定したとの連絡があった。

³ 後日、寺下から登壇候補者全員の内諾が取れた旨、メールで共有があった。

- ・公開シンポジウムは基調講演あり（3時間）および基調講演なし（2時間半）の2案のいずれかを採用することが確認された。

4、追加の企画委員会パネル案（坂本案、中嶋案）の承認

- ・寺下から坂本案を企画委員会パネルとして追加で承認することが提案され、承認された。

- ・中嶋案については企画案をもう少し具体的にした上で、メールにて承認することが確認された。

5、その他

- ・学術交流委員会の小嶋委員長から、スタディグループに関する企画案が提示された件については、以下のように確認があった。

- ・企画委員会パネルとして採用されることを希望する場合、企画委員会としては承認可能である。

- ・他の枠（例えば、実行委員会パネルなど）でも問題ないという場合には、企画委員会の承認なしに、大会運営委員会や実行委員会がOKとすれば、大会中に企画が可能である。

- ・以上に関して、小嶋委員長および中嶋委員に再度、希望を確認のうえ、もし企画委員会パネルとして採用されることを希望する場合には、別途メールで承認することが確認された。

- ・坂本委員から提案のあった「前夜祭」企画については、企画委員会としては企画しないことが確認された。

以上

文責：戸川和成、寺下和宏
2025.3.7作成

日時：2025年3月1日（火）17時～18時30分

場所：オンライン（Zoom）

出席者

・委員：寺下和宏（委員長）、岡村こず恵、坂本治也、田村幸大、関嘉寛、松本典子、戸川和成

欠席者

・委員：中嶋貴子、岡本仁宏

1、非会員登壇者の旅費、謝金、シンポジウム登壇者の懇親会参加について

・寺下より旅費・謝金の支給基準およびシンポジウム登壇者の懇親会参加について、以下のとおり確認があった。

①登壇者が日本NP0学会会員の場合：謝金、旅費、大会参加費、懇親会費などの支給は一切行わない。

②登壇者が日本NP0学会の「非会員」の場合

・謝金：日本NP0学会謝金規程（外部非公開）に基づき支払う。

・旅費：日本NP0学会旅費規程を準用して、往復交通費実費を支給することができる。宿泊費については早朝セッションで交通事情的に間に合わない場合など、やむを得ない事情がある場合に限り支給する。いずれの場合も領収書の提出を求める。なお、登壇者が自弁で前泊、後泊することはとくに問題はない。したがって、登壇日以外の大会日程に参加するために移動日が登壇日と異なっていることは旅費支給上、とくに問題はない。

・大会参加費：非会員登壇者は大会参加費が免除される。別途、大会参加の申し込み手続き自体は必要である。

・懇親会費：非会員の公開シンポジウム登壇者に限り、懇親会に無償で招待する。その他の登壇者については懇親会費を支給しない。

・以上の基準以外で支給を希望する場合「事務局が個別の事案に対して対応をするようにしていく」ということが共有された。

2、各企画委員会パネルの進捗確認

・各案の進捗状況について以下のとおり確認があった。

・戸川案：内容および登壇者について確定。

・寺下案：内容および登壇者について確定したが、登壇者の1人がオンライン登壇を希望しているため、大会実行委員会にオンライン対応可能かについての確認をとった上で対応する。

・岡村案：登壇者の確認・調整中⁴

⁴ 後日、岡村委員から登壇者が確定したとの連絡があった。

- ・田村案：登壇者の確認・調整中⁵

- ・田村案については登壇者数が多いため、以下のような意見があった。
- ・当該セッションには、多くの参加者が予想されるため、当該時間のセッション数を絞るなどの参加者数を増やす工夫があると良い。
- ・予算の関係上、すべての非会員登壇者に旅費および謝金を支給することができない可能性がある。

- ・田村案の時間の調整については、戸川（大会運営委員兼務）が大会運営委員会に提案することが共有された。

- ・田村案に登壇する非会員登壇者の旅費および謝金については、登壇者決定後、田村委員から寺下に相談のうえ、たとえば規定額ではなく、1セッションあたりの予算を人数分で割って支給するなどで対応することが確認された。

- ・3月末の報告概要作成の前までには登壇者を確定することが確認された。

- ・戸川（大会運営委員兼務）より、企画委員会パネルの日程配置については各案ごとの希望通りに配置されることが確認された。

（参考）坂本案：日曜午後、田村案：日曜、寺下案：土曜を希望。

3、公開シンポジウムの登壇者（候補者）の承認

- ・寺下より公開シンポジウムの企画状況について以下のとおり共有があった。
- ・基調講演について、当初予定していたアルドリッチ氏は都合がつかず、オンラインでの登壇もできないため、基調講演登壇者を新たに検討する、または基調講演自体をなしにする案を検討中である

- ・パネル登壇者についてはほとんど内諾を得ており、残り2名に連絡中である⁶

- ・基調講演の登壇者候補について、寺下より委員に意見を募った。

- ・以上の企画状況および登壇者候補に関し、委員から以下のような意見があった。
- ・パネル登壇者には震災関連の研究者および実践者だけでなく、専門外の学会員をコメンテーターで入れるのはどうか。
- ・基調講演自体をなしにする場合「会長講演」という形で石田会長に登壇を打診するのはどうか。

- ・寺下から上述の意見については最終案を提示する前に可能な限り反映する旨、確認があった。

- ・（基調講演者を除く）パネル登壇者についての承認が提案され、承認された。

⁵ 後日、田村委員から登壇者が確定したとの連絡があった。

⁶ 後日、寺下から登壇候補者全員の内諾が取れた旨、メールで共有があった。

・公開シンポジウムは基調講演あり（3時間）および基調講演なし（2時間半）の2案のいずれかを採用することが確認された。

4、追加の企画委員会パネル案（坂本案、中嶋案）の承認

・寺下から坂本案を企画委員会パネルとして追加で承認することが提案され、承認された。

・中嶋案については企画案をもう少し具体的にした上で、メールにて承認することが確認された。

5、その他

・学術交流委員会の小嶋委員長から、スタディグループに関する企画案が提示された件については、以下のように確認があった。

・企画委員会パネルとして採用されることを希望する場合、企画委員会としては承認可能である。

・他の枠（例えば、実行委員会パネルなど）でも問題ないという場合には、企画委員会の承認なしに、大会運営委員会や実行委員会がOKとすれば、大会中に企画が可能である。

・以上に関して、小嶋委員長および中嶋委員に再度、希望を確認のうえ、もし企画委員会パネルとして採用されることを希望する場合には、別途メールで承認することが確認された。

・坂本委員から提案のあった「前夜祭」企画については、企画委員会としては企画しないことが確認された。

以上

日本NP0学会第27回年次大会 第3回企画運営委員会議事録案

文責：戸川和成、寺下和宏

2025. 3. 7作成

日時：2025年3月1日（火）17時～18時30分

場所：オンライン（Zoom）

出席者

・委員：寺下和宏（委員長）、岡村こず恵、坂本治也、田村幸大、関嘉寛、松本典子、戸川和成

欠席者

・委員：中嶋貴子、岡本仁宏

1、非会員登壇者の旅費、謝金、シンポジウム登壇者の懇親会参加について

・寺下より旅費・謝金の支給基準およびシンポジウム登壇者の懇親会参加について、以下のとおり確認があった。

①登壇者が日本NP0学会会員の場合：謝金、旅費、大会参加費、懇親会費などの支給は一切行わない。

②登壇者が日本NP0学会の「非会員」の場合

- ・謝金：日本NP0学会謝金規程（外部非公開）に基づき支払う。
- ・旅費：日本NP0学会旅費規程を準用して、往復交通費実費を支給することができる。宿泊費については早朝セッションで交通事情的に間に合わない場合など、やむを得ない事情がある場合に限り支給する。いずれの場合も領収書の提出を求める。なお、登壇者が自弁で前泊、後泊をすることはとくに問題はない。したがって、登壇日以外の大会日程に参加するために移動日が登壇日と異なっていることは旅費支給上、とくに問題はない。
- ・大会参加費：非会員登壇者は大会参加費が免除される。別途、大会参加の申し込み手続き自体は必要である。
- ・懇親会費：非会員の公開シンポジウム登壇者に限り、懇親会に無償で招待する。その他の登壇者については懇親会費を支給しない。

・以上の基準以外で支給を希望する場合「事務局が個別の事案に対して対応をするようにしていく」ということが共有された。

2、各企画委員会パネルの進捗確認

- ・各案の進捗状況について以下のとおり確認があった。
- ・戸川案：内容および登壇者について確定。
- ・寺下案：内容および登壇者について確定したが、登壇者の1人がオンライン登壇を希望しているため、大会実行委員会にオンライン対応可能かについての確認をとった上で対応する。
- ・岡村案：登壇者の確認・調整中⁷
- ・田村案：登壇者の確認・調整中⁸
- ・田村案については登壇者数が多いため、以下のような意見があった。
- ・当該セッションには、多くの参加者が予想されるため、当該時間のセッション数を絞るなどの参加者数を増やす工夫があると良い。
- ・予算の関係上、すべての非会員登壇者に旅費および謝金を支給することができない可能性がある。
- ・田村案の時間の調整については、戸川（大会運営委員兼務）が大会運営委員会に提案することが共有された。
- ・田村案に登壇する非会員登壇者の旅費および謝金については、登壇者決定後、田村委員から寺下に相談のうえ、たとえば規定額ではなく、1セッションあたりの予算を人数分で割って支給するなどに対応することが確認された。
- ・3月末の報告概要作成の前までには登壇者を確定することが確認された。
- ・戸川（大会運営委員兼務）より、企画委員会パネルの日程配置については各案ごとの希望通りに配置されることが確認された。

⁷ 後日、岡村委員から登壇者が確定したとの連絡があった。

⁸ 後日、田村委員から登壇者が確定したとの連絡があった。

(参考) 坂本案：日曜午後、田村案：日曜、寺下案：土曜を希望。

3、公開シンポジウムの登壇者（候補者）の承認

- ・寺下より公開シンポジウムの企画状況について以下のとおり共有があった。
- ・基調講演について、当初予定していたアルドリッチ氏は都合がつかず、オンラインでの登壇もできないため、基調講演登壇者を新たに検討する、または基調講演自体をなしにする案を検討中である
- ・パネル登壇者についてはほとんど内諾を得ており、残り2名に連絡中である⁹
- ・基調講演の登壇者候補について、寺下より委員に意見を募った。
- ・以上の企画状況および登壇者候補に関し、委員から以下のような意見があった。
- ・パネル登壇者には震災関連の研究者および実践者だけでなく、専門外の学会員をコメンテーターで入れるのはどうか。
- ・基調講演自体をなしにする場合「会長講演」という形で石田会長に登壇を打診するのはどうか。
- ・寺下から上述の意見については最終案を提示する前に可能な限り反映する旨、確認があった。
- ・（基調講演者を除く）パネル登壇者についての承認が提案され、承認された。
- ・公開シンポジウムは基調講演あり（3時間）および基調講演なし（2時間半）の2案のいずれかを採用することが確認された。

4、追加の企画委員会パネル案（坂本案、中嶋案）の承認

- ・寺下から坂本案を企画委員会パネルとして追加で承認することが提案され、承認された。
- ・中嶋案については企画案をもう少し具体的にした上で、メールにて承認することが確認された。

5、その他

- ・学術交流委員会の小嶋委員長から、スタディグループに関する企画案が提示された件については、以下のように確認があった。
- ・企画委員会パネルとして採用されることを希望する場合、企画委員会としては承認可能である。
- ・他の枠（例えば、実行委員会パネルなど）でも問題ないという場合には、企画委員会の承認なしに、大会運営委員会や実行委員会がOKとすれば、大会中に企画が可能である。
- ・以上に関して、小嶋委員長および中嶋委員に再度、希望を確認のうえ、もし企画委員会パネルとして採用されることを希望する場合には、別途メールで承認することが確認された。

⁹ 後日、寺下から登壇候補者全員の内諾が取れた旨、メールで共有があった。

- ・坂本委員から提案のあった「前夜祭」企画については、企画委員会としては企画しないことが確認された。

以上